

夢

追

い

人

# ～快適な住空間を作る製品開発～

ガラスを通して生活の表情を創る



常務取締役  
面家隆寿さん

専務取締役  
中村寿志さん

暑い日であった。取材のため(株)丸八ガラス店を訪れた。心地良い応接室に通された。ああ、エアコンが入って気持ちよいでもしばらくするとその快さはそれだけでないことに気づいた。柔らかな自然光がある。壁面にかんりのスペースを割いている、ごく薄いコバルト色のサッシガラス。常務の面家さんに聞いてみると、それは、UVカットで、赤外(熱線)を和らげる、特殊なガラスですとのことだった。なるほど…。ガラス企業らしい、と妙に納得してしまつた。

丸八ガラス店が、近年力を入れているのが、快適な住空間を作る製品開発。コンセプトが「ガラスを通して生活の表情を創る」だそう。

では、丸八ガラス店では、そのためのどんな取り組みを行っているのだろうか？

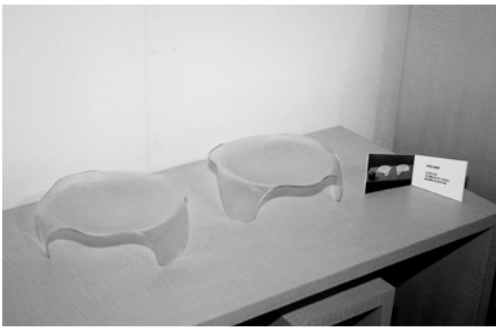
常務の面家さんは、こう言う。「昨年から若い人の感性を積極的に取り入れるように努めています。そのため、福岡デザイン専門学校と連携し、学生さんたちの発想、アイデア、デザインを商品作りに活かせるようにしています。「専務の中村さんはこう付け加えた。「やはり若い人たちは、発想が自由です。

今までにない、柔らかい、新しいタイプの動きあるデザインが出てきます。とても貴重だと思いますね。」

この産学協業のコラボレーションは、「Project「コレ」」というネーミング。丸八ガラス店のほかに市内家具製造企業四社が参加している。二ヶ月に一回ミーティングを続けている。

「七月十四、十五日、産業会館で開かれる『二〇四夏の彩展』の中心、「Project「コレ」」の展示スペースを設けます。丸八ガラス店は「クラゲボール」(Orange)といつ「ニーク」な作品を出品します。また8月にはソラ





発想が面白い  
クラゲボール



Project『コレっ』  
2004夏の彩展より



Tecnometal  
B7 2.03

リアプラザでの展示会にも出品する予定です。」と面家さんは話す。

快適な住空間に資する取り組みには、他に何があるのだろうか？

「平成十四年度からはフィルム貼り加工ガラスに力を入れてきました。このガラスは機能性という点で優れています。そして今は塗装ガラスです。これは四五〇色から選べるので、デザイン・形状と共に表情豊かな住空間を作るのに適しています。」と中村さんは言う。さらに面家さんは、「使用する塗料は、愛知のある企業と共同開発した物で、従来と比較して、はげにくく、対褪色効果に優れています。データによれば六〇〇時間以上の耐久性を持っています。アドバンテージがあると考えています。」と語る。

さらにどんな取り組みが計画されているのだろうか？

厚物ガラスの複合加工分野にも積極的に乗り出していく方向だ。例えばホテルの洗面台トップのような製品である。この分野はヨーロッパ、特にイタリアが強い。中村さんは「この分野で生産性を上げるため、ガラス加工複合機B7を新規導入して、工場内の生産工程組み

替えを行います。七月二十日前後から入る予定です。」そして

面家さん。「実は今年の五月三十一日に、福岡県経営革新計画認定企業になりました。今回はその計画に基づき、高価な複合加工機械を導入することになりました。この機械はプログラムに沿って直曲、穴開け、磨きなどの一連の作業を全自動で行います。刃物だけでも通常機械は、五本から六本ですが、これは、二十二本も備えていて、特殊な加工も難なくこなします。効率的に顧客のニーズにあった製品作りが可能です。」

これからの夢は何だろうか。

「資材供給のみのガラス加工販売にとどまらず、オーダーメイドの完成商品をエンドユーザーに販売する体制作りを強化していきたいと思います。」と面家さん。中村さんもこう言う。「実は、そのためのアプローチの一つとして、大阪の業者と共同でネット販売を検討しているところです。」

◆  
丸ハガラス店さんにはチャレンジする企業として、エンドユーザーのニーズ、そして快適な住空間のため、これからも「光り輝き」続けてもらいたい。